

<学部・学科・専攻名>

学部名	家政学部
学科名	食物学科
専攻名	管理栄養士専攻

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識および技能> 1. 専門的知識および技術を統合し、個人や集団の栄養・健康状態や特性を総合的に理解し、栄養・食事管理が実践できる。 2. 健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病の発症予防・重症化予防、治療に携わり健康寿命の延伸に貢献できる。 3. 栄養学研究成果を応用・活用するとともに、実践の場において栄養学の発展と実践の質の向上に寄与できる。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 栄養学の専門的知識および技術を活用し、課題に対して必要な情報を収集・選択し、科学的視点を持って論理的に判断できる。 2. 人々の生活背景や価値観を尊重し、豊かな人間性を持って、適切な情報発信により、健康的な食生活の意思決定を支援できる。 3. 国内外の社会的ニーズに対応し、栄養の専門職として役割を果たし、社会や組織を変えることに貢献し、社会的認知を高めることができる。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 栄養・食事管理を必要とする人々に関わる関係者の役割を理解し、協調性を持って連携・協働することができる。 2. 社会経済状況や食環境の変化などを理解し、栄養・食に関する課題解決に向けた方策を考え、地域における人・組織のネットワークづくりを担うことができる。 3. 栄養・食事管理を中心とした栄養の専門職として、生涯を通して自律的に学び続けることができる。
公衆衛生学 I	2	1	◎		
解剖生理学 I	2	1	◎	○	
解剖生理学 II	2	1	◎	○	
食品学	2	1	◎	◎	
食品化学	2	1	○	◎	
基礎調理学実習 I	1	1	◎	○	
基礎調理学実習 II	1	1	◎	○	
生活環境学実験	1	1	◎	◎	○
解剖生理学実験	1	1	◎	○	
食品学実験	1	1	◎	◎	
食安全学	2	1	◎	◎	○
基礎栄養学	2	1	◎	○	
食事摂取基準論	2	1	◎	◎	○
カウンセリング論	2	1	◎	○	
生化学	2	2	◎	◎	○
臨床医学 I	2	1	◎	○	
臨床医学 II	2	2	◎	◎	○
調理科学	2	2	◎	◎	○
応用栄養科学	2	2	◎	◎	
栄養教育論 I	2	2	◎	○	○
臨床栄養学 I	2	2	◎	○	
臨床栄養学 II	2	2	◎	○	
給食経営管理論 I	2	2	◎	○	
実践統計学実習	1	2	◎	○	
食事設計論実習	1	2	◎	◎	○
栄養教育論実習 I	1	2	◎	○	○
臨床栄養学実習 I	1	2	◎	◎	◎
生化学実験	1	2	◎	○	
食品化学実験	1	2	◎	○	◎
食安全学実験	1	2	◎	◎	○
栄養学実験	1	2		○	○
社会福祉論	2	2	◎		
公衆衛生学 II	2	3	◎		
実践臨床医学	2	3	◎	○	
栄養生化学	2	3	◎	◎	○
ライフステージ栄養学	2	3	◎	◎	○
栄養教育論 II	2	3	◎	○	○
臨床栄養学 III	2	3	◎	○	

<学部・学科・専攻名>

学部名	家政学部
学科名	食物学科
専攻名	管理栄養士専攻

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識および技能> 1. 専門的知識および技術を統合し、個人や集団の栄養・健康状態や特性を総合的に理解し、栄養・食事管理が実践できる。 2. 健全な発育・発達、健康の維持・増進、疾病の発症予防・重症化予防、治療に携わり健康寿命の延伸に貢献できる。 3. 栄養学研究成果を応用・活用するとともに、実践の場において栄養学の発展と実践の質の向上に寄与できる。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 栄養学の専門的知識および技術を活用し、課題に対して必要な情報を収集・選択し、科学的視点を持って論理的に判断できる。 2. 人々の生活背景や価値観を尊重し、豊かな人間性を持って、適切な情報発信により、健康的な食生活の意思決定を支援できる。 3. 国内外の社会的ニーズに対応し、栄養の専門職として役割を果たし、社会や組織を変えることに貢献し、社会的認知を高めることができる。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 栄養・食事管理を必要とする人々に関わる関係者の役割を理解し、協調性を持って連携・協働することができる。 2. 社会経済状況や食環境の変化などを理解し、栄養・食に関する課題解決に向けた方策を考え、地域における人・組織のネットワークづくりを担うことができる。 3. 栄養・食事管理を中心とした栄養の専門職として、生涯を通して自律的に学び続けることができる。
臨床栄養学Ⅳ	2	3	○	◎	○
公衆栄養学Ⅰ	2	3	◎	◎	○
公衆栄養学Ⅱ	2	3	◎	◎	○
給食経営管理論Ⅱ	2	3	◎	◎	◎
食物学演習	2	3	○	○	◎
ライフステージ栄養学実習	1	3	◎	○	○
栄養教育論実習Ⅱ	1	3	◎	○	
臨床栄養学実習Ⅱ	1	3	◎	◎	
公衆栄養学実習	1	3	◎	○	○
給食経営管理実習Ⅰ	1	3	◎	◎	◎
総合演習	2	34		○	◎
臨地実習Ⅰ	1	34		○	◎
臨地実習Ⅱ	3	34		○	◎
卒業研究	2	34		◎	○
卒業論文	2	34	○	◎	◎
化学Ⅰ	2	1	◎	◎	
化学Ⅱ	2	1	◎	◎	
基礎生物学	2	1	◎	○	
食文化論	2	1	◎	○	
栄養学概論	2	1	◎	○	
管理栄養士概論	2	1	○	◎	◎
機能的食品学	2	2	○	◎	○
栄養・健康情報論	2	2	○	○	○
食品微生物学	2	2	◎	◎	◎
スポーツ栄養論	2	2	◎	◎	◎
セルフメディケーション概論	2	2	◎	◎	◎
スポーツ栄養論実習	1	2	◎	◎	◎
食品微生物学実験	1	2	◎	◎	◎
調理科学実験	1	2	◎	◎	○
臨床心理学	2	2	◎	○	○
学校栄養教諭論Ⅰ	2	3	○	◎	◎
学校栄養教諭論Ⅱ	2	3	○	◎	◎
給食経営管理実習Ⅱ	1	3	○	○	○
スポーツ科学論	2	3	◎	◎	◎
管理栄養士演習	2	4			◎